

400年続く肥沃な農地を100年先までつなぐための30の未来構想アイデア

八王子市小比企町 農がつながり、農がめぐるまち

農の風景育成地区 構想図 小比企町の農の風景を残していくために、農家が「解決・継承・挑戦したいこと」を30のアイデアにまとめた

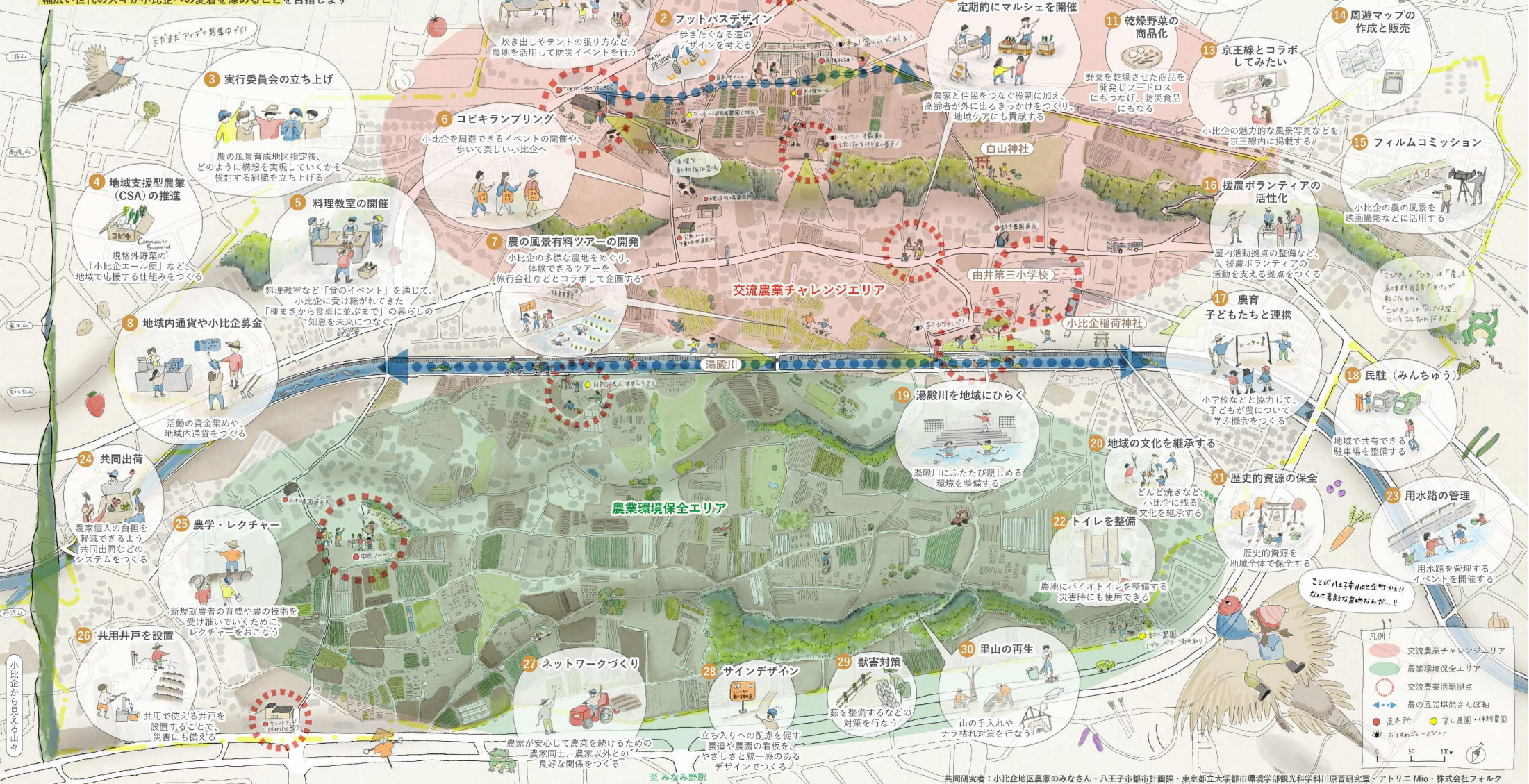
農がつながり、農がめぐるまち 小比企町で農を営む人々、生活する人、訪れる人々が多方面から有機的につながり、地域内に循環していく(めぐる)ことで、これまで育まれてきた農の風景・文化・伝統を継承し、関係人口も含めた幅広い世代の人々が小比企への愛着を深めることを目指します

アイデアを考える8つの方針

- 1 出会う**
農地は、人が生きていくのに欠かせない食料を生産するプラットフォームであると同時に、それ自身が魅力的な場所でもある農地にふれる機会を創出することで、外部の人がその魅力を発見するきっかけをつくる
- 2 動かす**
小比企が「農の風景育成地区」に指定されることは出発点であり、そこからどのような活動を展開していくかを検討・運営する組織を立ち上げる

- 3 稼ぐ**
農の資源を生かして小さく多彩な地域内経済の種をつくり循環させることで、さまざまなリスクにも耐えられる農業経営を目指す
- 4 拡げる**
小比企の人とそこで作られた生産物が地域内だけでなく外へも循環していくことで、地域の活性化につなげる
- 5 伝える**
農作物の生産に加え、景観・環境保全や防災機能など農業が果たす多面的な役割を積極的に発信し、農業や小比企という土地への理解を醸成する

- 6 守り、つなぐ**
技術や生業としての農業、小比企という土地を受け継がれてきた生活文化や地域資源を守り、世代を超えて受け継いでいく
- 7 整える**
小比企の農地をより快適にしてその魅力を高めると同時に、防災の観点からも必要とされるインフラを整備する
- 8 支える**
小比企の農家のより良いサポートができるよう援農ボランティアや応援団の仕組みを構築する



1 防災イベント
炊き出しやテントの張り方など農地を活用して防災イベントを行う

2 フットバスデザイン
歩きたくなる道のデザインを考える

9 案内看板を設置したい

10 こみちのマルシェなど定期的にマルシェを開催

12 小比企野菜のブランド化

14 周遊マップの作成と販売

3 実行委員会の立ち上げ

6 コビキランプリング
小比企を周遊できるイベントの開催や、歩いて楽しい小比企へ

7 農の風景有料ツアーの開発
小比企の多様な農地をめぐる、体験できるツアーを、旅行会社などとコラボして企画する

11 乾燥野菜の商品化
野菜を乾燥させた商品を開発しフードロスにもつなげ、防災食品にもなる

13 京王線とコラボしてみたい

15 フィルムコミッション

4 地域支援型農業(CSA)の推進
規格外野菜の「小比企メール便」など地域で応接する仕組みをつくる

5 料理教室の開催
農の風景育成地区指定後、どのように構想を実現していくかを検討する組織を立ち上げる

16 援農ボランティアの活性化
屋内活動拠点の整備など、援農ボランティアの活動を支える拠点をつくる

17 農育子どもたちと連携

18 民駐(みんちゅう)
地域で共有できる駐車場を整備する

19 湯殿川を地域にひらく
湯殿川にふたたび親しめる環境を整備する

20 地域の文化を継承する
どんと焼きなど小比企に残る文化を継承する

8 地域内通貨や小比企募金
活動の資金集めや、地域内通貨をつくる

21 歴史資源の保全
歴史資源を地域全体で保全する

22 トイレを整備
農地にバイオトイレを整備する災害時にも使用できる

23 用水路の管理
用水路を管理するイベントを開催する

24 共同出荷
農家個人の負担を軽減できるように共同出荷などのシステムをつくる

25 農学・レクチャー
新規就農者の育成や農の技術を受け継いでいくために、レクチャーをおこなう

26 共用井戸を設置
共用で使える井戸を設置することで、災害にも備える

27 ネットワークづくり
農家が安心して農業を続けるための農家同士、農家以外との良好な関係をつくる

28 サインデザイン
立ち入りへの配慮を促す農道や農園の看板を、やさしさと統一感のあるデザインでつくる

29 獣害対策
致を整備するなどの対策を行なう

30 里山の再生
山の手入れやナラ枯れ対策を行なう

23 用水路の管理
用水路を管理するイベントを開催する

小比企から見える山々

凡例:

- 交流農業チャレンジエリア
- 農業環境保全エリア
- 交流農業活動拠点
- 農の風景能幹線
- 直売所
- 貸し農園・体験農園
- 若年労働者サポート

50 100m